



真岡市立中村小学校だより

みどり野

No. 8

令和3年2月19日

学校経営理念「私たちは、子どもたちが自立し、協働して社会に貢献できる人間になるための基盤を育成します。」
学校教育目標 1 めあてをもって勉強する子 2 なかよくたすけあう子 3 じょうぶでがんばる子

当たり前前かが笑顔でできる小学生

2月13日夜中の地震、そして停電では、東日本大震災の記憶が鮮明に思い出されました。学校は常に危機感をもって子供たちの安全安心を確保していますが、改めて襟を正すきっかけとなりました。

さて、暦の上では春ですが、朝夕はまだまだ冷え込む日が続いています。それでも子供たちは、毎日元気に登校してきます。校長は、毎朝どこかの通学路やバス停に立ち寄り、子供たちと笑顔で挨拶を交わす中で元気をもらっています。そこで気付いた点がいくつかあります。①班長や高学年の挨拶が元気な班は、下級生も元気です。これは、バス停に立ち寄っても感じます。中村小のよい伝統が下級生に引き継がれています。②挨拶が元気な子は、休みが少ないです。挨拶に比例して、笑顔や前向きさも感じられ、ポジティブ思考で免疫力が高いのかも知れません。



中村小の子供たちの欠席者の割合は他校に比べてとても少ないです。これは、休み時間元気に外遊びをし、登下校はしっかり歩いて基礎体力がつき、各家庭での健康管理がしっかりしているからと感謝しています。

一方で、気になるのが朝夕の送迎も多いことです。（※病気や怪我、習い事、その他様々な要因で送迎されている場合とは区別願います。）「時間があるから」「車で行きたいとねだられたから」と、安易な理由で乗せてしまった場合、もしかしたら子供たちの自立や責任感、粘り強さなど、大切な成長の機会を奪っているかもしれません。高学年になると班長や副班長などとして、下級生を守るというやりがいも生まれます。『元気なら雨でも晴れでも歩いて登下校が当たり前』という、強い心が育てば、



困難に直面したときに自力で乗り越えられます。たかが登下校ですが、そういった毎日の積み重ねが大きな成長につながると思います。登下校中の事件事故など心配もつきませんが、将来社会で自立していく子供たちに、小学校時代に来ることや得られるものを、最善の形で身に付けられることをいつも願っています。